

今月の 元気企業

- 企業名：株式会社 ホープ
 ○設立：1952年4月
 ○所在地：〒215-0033
 川崎市麻生区栗木
 2-6-20
 ○電話：044-980-2150
 ○代表：小野 良文 氏
 ○資本金：5,200万円
 ○従業員：65人
 ○事業内容：遊園施設向けアミューズメントマシンの製造・販売、
 遊園施設の運営



株ホープは、戦後まもなく軽自動三輪車の名車“ホープスター”を生み出し、一世を風靡した自動車メーカーがルーツ。自動車メーカーからアミューズメントマシンメーカーへと転進したのち「子供から大人までファミリーで楽しむアミューズメントマシンづくり」を追求、児童向け遊具のシェア80%を誇るトップ企業となった今なお、躍進を続けている。

●軽三輪自動車“ホープスター”の誕生

同社は、小野定良氏（現社長 良文氏の父）が昭和27年に株式会社ホープ商会を設立したところから始まった。軍隊時代にも自動車関係に携わり、自動車技術を熟知していたという定良氏が開発したのが人気軽三輪「ホープスター」である。昭和33年には、ホープスターの月産台数は900台を数え、日本全国にホープスターが広まった。

●新事業分野への模索の時代

自動車業界の競争が激化する中で同社の新型軽四輪自動車にトラブルが発生。定良氏の個人資産を投じて修理する事態となり、ホープスターの生産を中止することとなった。自動車製造技術をコアとした異分野への進出を模索するなか、ロードウェイライド（軌条走行乗物）の受注があり、百貨店へ納入。これを機会に全国の遊園地との接点ができ、大型遊戯機械分野への進出が本格化。大阪万国博覧会では、同社が開発した電気自動車のアトラクションは高い技術評価を受けた。異分野事業で成功する一方で、社内に残る多くの技術者達は自動車開発への夢を捨てず、ついに日本初のオフロード軽四輪駆動（4WD）自動車を誕生させた。しかし、時代を先取りし過ぎたコンセプトは市場に受け入れられず生産を断念。製造権を鈴木自動車工業（現スズキ）に譲り渡し、完全に自動車から撤退した。だが、4WDホープスターの技術とコンセプトは、スズキ・ジムニーに今でも受け継がれている。

●アミューズメントマシン分野へ

昭和46年、レジャー事業部を託された矢野徳蔵氏は従来の大型遊戯機械ではなく、小型乗物を中心に自社開発する方向に方針転換した。自社工場を持つ同社にとって、共通マシンからなる木馬やバッテリーカーは大量生産に適し、同社の強みを発揮できるとの判断であった。やがて時代も屋上遊園地から屋内遊園施設へと移り変わり、90年代に入ると、工場を持つ同社の強みから、セガ等の有力メーカーとの共同開発や、OEM生産が活発化した。2001年の6月、創業者の定良氏、9月に矢野徳蔵氏が逝去され、小野良文氏が代表取締役として就任。同氏は“ファミリー向け”アミューズメントマシン分野に経営資源を集中する方針を打ち立て関連会社を統合。マシンの開発体制を強化しつつ、他者の追随を許さないスピードでオリジナル商品を開発し、子供から大人まで楽しめるレジャーを演出する企業として今もトップを走り続けている。

K²タウンキャンパスのオープンキャンパスとセミナー

日時：平成19年11月17日（土）

場所：慶應義塾大学 新川崎K²タウンキャンパス

○オープンキャンパス…13:00～17:00

全プロジェクト公開、電気自動車「エリーカ」公開走行など。入場自由。

○オープンセミナー

①「フォトニクスポリマーが拓く人にもどるIT社会」

…10:30～12:00

講師：小池康博（慶應義塾大学理工学部教授）

②「ウエットプロセス・ナノコーティングと実用化」

…14:30～16:00

講師：白鳥世明（慶應義塾大学理工学部准教授）

①②とも先着50人。資料代1,000円。

問い合わせ・申し込み先：慶應義塾大学K²タウンキャンパス事務局

☎ 044-580-1580 ☎ 044-580-1570 URL <http://www.k2.keio.ac.jp/>

問い合わせ：川崎市経済局産業政策部企画課

☎ 044-200-2337 ☎ 044-200-3920

～創業し易いまち川崎を目指して～ かわさき起業家オーディション 50回開催記念フォーラム

平成13年11月にスタートした「かわさき起業家オーディション ビジネス・アイデアシーズ市場」が本年10月の開催で50回の節目を迎えることから、過去の受賞者の追跡調査等の報告や受賞企業のビジネスを紹介するなど、既受賞者間の連携などオーディション事業の発展を図るために、フォーラムを開催いたします。

日時 平成19年11月10日（土） 13:00～18:15

（展示は13時から、フォーラムは14時から）

会場 川崎市産業振興会館 4階展示場

【プログラム】

- 1 開会あいさつ 君嶋武胤（川崎市産業振興財団理事長）
- 2 来賓あいさつ 川崎市副市長 高井憲司
- 3 基調講演
演題「最近のベンチャー環境とベンチャー経営とは」
講師 柳 孝一（早稲田大学 ビジネススクール教授）
- 4 研究報告
小野耕三（前オーディション審査委員長）
（既受賞者の事業展開等について調査結果分析の報告）

5 パネルディスカッション

<コーディネーター>

田子みどり（㈱コスモピア 代表取締役）

<パネラー>

渡邊敏幸（㈱イスマンジェイ 代表取締役）

関田仁志（サイバーレーザー㈱ 代表取締役）

半谷桜子（㈱ハッピーストライク 代表取締役）

6 交流会（一般の参加者は参加費を千円予定）

※参加者には記念誌を配布します。

【展 示】フォーラム会場に受賞企業の商品パンフレット等を展示。

問い合わせ先

（財）川崎市産業振興財団 川崎市中小企業サポートセンター

経営支援課 ☎ 044-548-4141 【担当】中村

【URL】<http://www.kawasaki-net.ne.jp/bizidea/>